

東北地方 3か月予報

(11月から1月までの天候見通し)

平成19年10月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

11月 東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

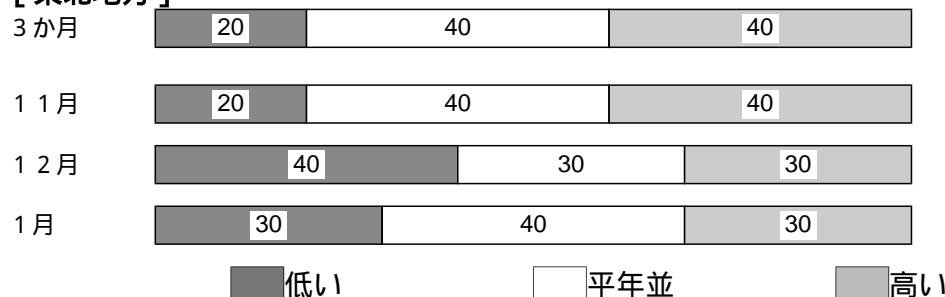
12月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

<<気温>>

[東北地方]

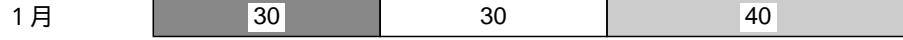


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



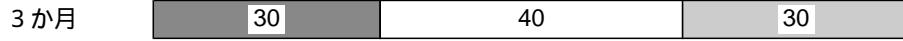
■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月26日

3か月予報：11月22日(木) 14時

11月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	11月	12月	1月	11月～1月	11月	12月	1月	11月～1月	11月	12月	1月	11月～1月
青森	6.4	1.3	-1.4	2.1	131.7	148.6	144.9	425.4	91.4	54.7	56.7	202.8
深浦	7.5	2.5	-0.4	3.2	147.2	126.2	96.9	367.4	71.4	34.3	31.3	137.3
むつ	6.3	1.2	-1.6	2.0	115.4	93.3	96.0	304.4	106.5	73.7	77.0	256.6
八戸	6.6	1.6	-1.2	2.4	61.2	41.7	48.2	150.1	136.5	128.4	134.5	400.8
秋田	7.6	2.8	-0.1	3.4	183.5	163.8	114.4	459.4	84.7	47.6	44.6	177.4
盛岡	5.7	0.8	-2.1	1.4	93.1	64.5	50.6	206.9	118.8	104.4	124.0	347.7
大船渡	8.2	3.5	0.7	4.1	104.5	36.9	43.5	186.5	139.5	139.6	148.6	427.8
宮古	7.7	3.0	0.2	3.7	85.6	39.9	52.6	176.4	146.3	151.6	163.6	462.0
仙台	9.1	4.3	1.5	4.9	66.8	26.4	33.1	128.8	140.2	144.7	151.3	435.5
石巻	8.3	3.4	0.5	4.1	65.1	24.8	33.1	123.4	149.3	155.4	167.6	471.6
山形	7.2	2.4	-0.5	3.0	80.8	77.2	75.4	233.8	99.6	85.1	89.6	273.4
新庄	6.2	1.4	-1.3	2.1	195.4	210.9	181.4	587.5	62.1	37.3	43.1	142.2
酒田	9.0	4.3	1.5	4.9	223.9	201.9	152.6	582.9	80.4	44.8	39.9	165.2
福島	9.0	4.2	1.4	4.8	63.4	32.5	43.8	140.2	130.6	130.7	136.6	398.0
若松	7.0	1.9	-0.7	2.7	73.3	83.3	80.9	239.0	88.3	72.0	80.9	239.7
白河	7.6	2.7	0.2	3.5	65.0	25.0	30.6	121.3	146.4	157.8	160.9	464.1
小名浜	10.8	6.1	3.6	6.8	87.7	35.0	46.2	174.1	160.2	184.8	189.6	533.4

	降雪量(cm)			
	11月	12月	1月	11月～1月
青森	40	170	250	463
深浦	13	77	123	215
むつ	21	101	175	302
八戸	8	52	95	154
秋田	13	79	142	236
盛岡	11	68	106	187
大船渡	2	11	23	36
宮古	1	19	43	63
仙台	1	14	29	43
石巻	1	7	13	21
山形	12	92	163	269
新庄	28	168	283	483
酒田	10	64	138	213
福島	2	35	86	125
若松	9	100	185	297
白河	2	25	58	87
小名浜	0	1	5	5

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	11月	12月	1月	11月～1月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.5	-0.3～+0.5	-0.3～+0.8	-0.3～+0.5
	東北日本海側	-0.3～+0.5	-0.2～+0.6	-0.3～+0.7	-0.2～+0.5
	東北太平洋側	-0.3～+0.6	-0.1～+0.5	-0.3～+0.8	-0.2～+0.5
降水量平年比(%)	東北地方	80～107	80～107	81～103	86～105
	東北日本海側	92～103	88～106	93～109	94～101
	東北太平洋側	68～111	69～116	62～104	80～104
降雪量平年比(%)	東北地方	45～86	72～112	85～106	76～108
	東北日本海側	45～114	78～113	96～110	84～104
	東北太平洋側	27～60	57～114	72～102	74～115

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（11～1月）

平成19年10月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

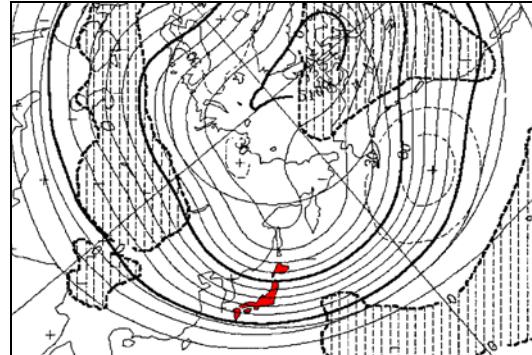
	気温	降水量
11～1月	平年並または高い確率がともに40%	各階級の確率の偏りは小さい
11月	平年並または高い確率がともに40%	各階級の確率の偏りは小さい
12月	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
1月	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
11～1月の東北日本海側の降雪量は、各階級の確率の偏りは小さい		

寒候期予報に見直しについて：最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ、この冬（12月から2月）の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

2. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、東西に正偏差域（平年より高度が高く、暖気に対応）が広がり、3か月平均では高温傾向が見られるが、偏差は大きくななく、寒気が南下し低温になる時期もある見込み。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

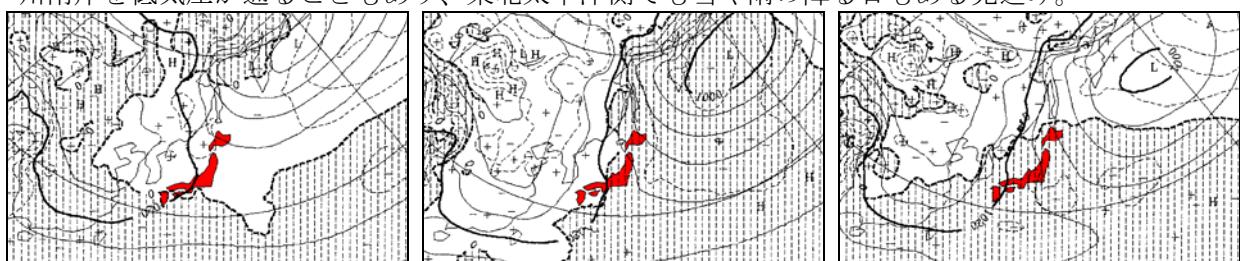
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

11月：アリューシャン付近は正偏差で平年より気圧が高く、冬型の気圧配置は弱い。寒気の南下は弱く、東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多いみ込み。東北太平洋側は、低気圧や前線の影響を時々受け、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込み。

12月：日本の西の高気圧は正偏差、東の低気圧は負偏差で、平年に比べ西高東低の冬型の気圧配置は強い。時々冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が南下する見込み。月平均した上空の気温は平年並程度が予想されていることから、冬型の気圧配置がゆるむこともあり、月を通じた天気はおおむね平年と同様で、東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込み。

1月：日本付近は冬型の気圧配置で、天気は平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込み。ただし、日本の南で平年より気圧が低く、本州南岸を低気圧が通ることもあり、東北太平洋側でも雪や雨の降る日もある見込み。

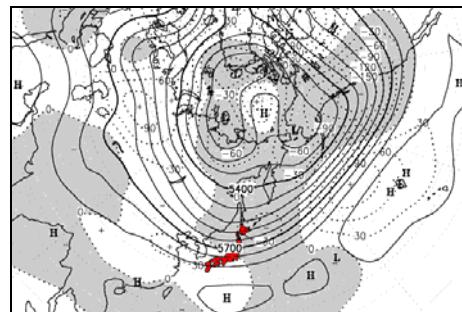


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から 11月、12月、1月）

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

10月(20日まで)：東北以北は北海道の東を中心とした負偏差（平年より高度が低く、寒気に対応）。関東以西は、黄海付近を中心とした正偏差（平年より高度が高く、暖気に対応）。東北地方は両者の影響をうけ、上旬は暖かい空気におおわれ気温がかなり高くなつたが、中旬は寒気が入り平年を下回つた。



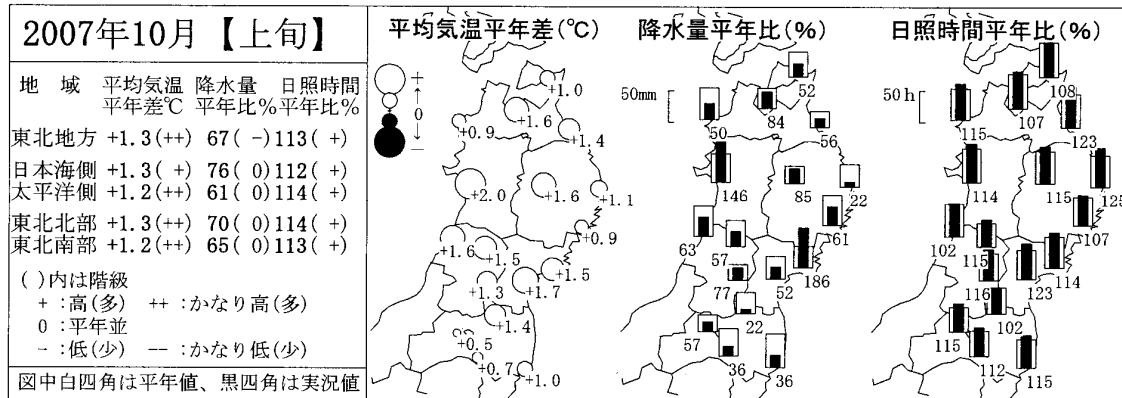
10月1日～20日の平均500hPa高度と偏差

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

10月上旬：天気は数日の周期で変わったが、高気圧におおわれ晴れの日が多くた。寒気の南下は弱く、気温の高い日が多くた。

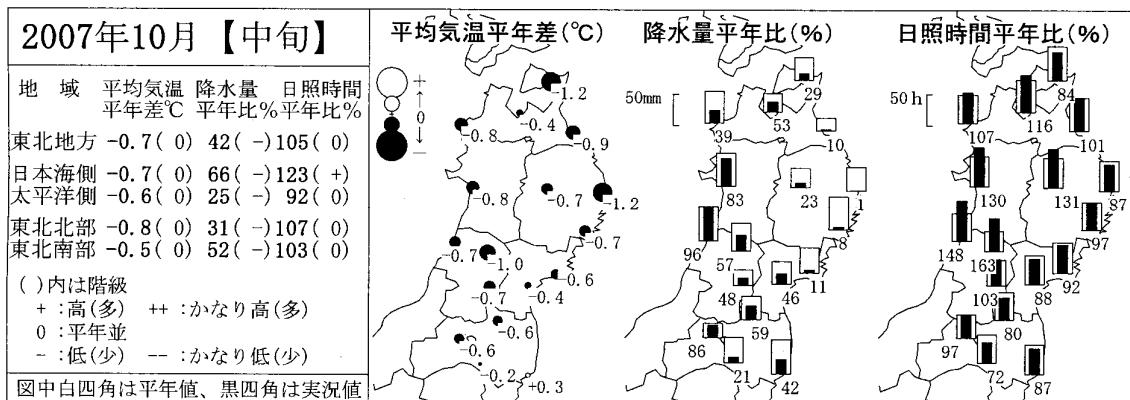
平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北地方が多い。



東北地方における10月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

10月中旬：前半は晴れの日が多くたが、東北日本海側の北部は弱い気圧の谷の影響で雨の降る日もあった。後半は東北南部を中心に本州南岸に停滞する前線の影響で曇りや雨の日が多くた。時々上空に寒気が入り、鳥海山、八甲田山は13日、岩手山は15日に初冠雪が観測された。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

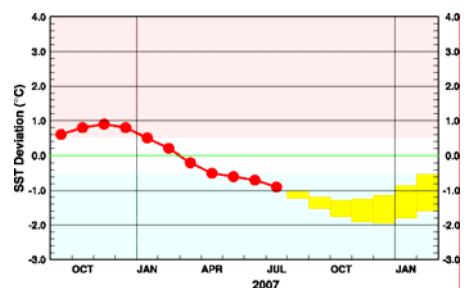


東北地方における10月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況（9月）、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、中部から東部にかけて顕著な負偏差、西部で顕著な正偏差だった。海面から深さ数百mまでの水温や上空の風の状態などもラニーニャ現象時の特徴を示しており、8月に比べて明瞭になった。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、予測期間中、基準値より低い値で推移すると予測される。ラニーニャ現象は2008年の春まで続く可能性が高い。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値の推移（折れ線）と今後の予測（ボックス）

<参考資料> 平年の天気出現日数（日）

	11月		12月		1月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	9.2	17.7	5.4	18.7	5.3	19.7
雨の日	15.8	8.1	19.1	6.6	19.6	7.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。